

OMC事務局 〒560-0085 豊中市上新田4-16-1-33 合原一夫 TEL06-6833-9227
広報編集局 〒573-1171 枚方市三栗1-18-20 前田茂夫 TEL072-850-5781
<http://www6.ocn.ne.jp/~nakabc/omc-news/kaiho.htm>

平成26年5月(2014年) No.581

全国コンに挑戦してみよう

東京アマチュア映像祭

全国ビデオ映像コンテスト作品募集中

映像コンテストに応募してみようか、というときは、やはり自分なりに自信の持てる作品ということになります。ほかの人が見て「いゝ作品だねえ」と言って貰える作品というのは、なかなか簡単には作れないものです。

まず、何を伝えたいか、何をどう伝えたいか、テーマがしっかり掴まえていなければなりません。このテーマさえとらえられたら、それに関わる映像素材を集め、或は撮り足しながら、全体の話の筋道をたてていくわけですが、そうした脚本が描ければしめたものです。

コンテストに出すということは、やはり自分なりに考え苦勞して作ったものを第三者に批評してもらうこと、と考えてもいいでしょう。それだけに賞に入ったときの感激は大きいものがあり自信もつきます。

主な全国コンも、8ミリ映画時代にはメーカー系のものがたくさんありましたが今は少なくなっています。それだけに競争も激しいのですが、腕だめしと思って、思い切って出してみるのも一つの勉強です。

今、7月20日締切りで10分以内の作品を東京アマチュア映像祭全国ビデオコンテスト募集中です。まだ時間がありますので今から準備しても間に合う筈です。応募用紙は会長まで申出るか、ホームページからダウンロードするかして入手してください。

寝屋川映像フェスティバルは5月31日13時半より

寝屋川映像協会は寝屋川市駅前アルカスホールにて5月31日13時30分より映像発表会を開催します。他のクラブの発表会作品を見るのも大変参考になります。ぜひ行って見て下さい。

5月例会のおしらせ

5月例会は第4土曜24日午後6時より難波市民学習センターにて開催します。新緑の良い季節となりました。月1回の楽しい例会にぜひお越し下さい。作品の方もよろしく

■撮影会作品コンテスト

7月例会日の26日13時より例会場にて開催します。撮影会に参加しなかった方もどうぞ出席して投票して下さい。同じ場所に行って撮影しても各自がそれぞれ違ったねらい、絞り方をされた作品を見るのは、大変勉強になります。例会日の午後ですのでぜひ昼の部の撮影会作品公開コンテストにいらしてください。

■OMCフェスティバルの申込みくじ引き日に行くのをうっかりミスで申し訳ありません。このところ中央会館は会場申込みは6ヶ月前となっており、希望日の6ヶ月前の同日、申し込みくじ引きに会場へ行く必要があります、本来ならば10月開催なら4月に申し込みに行かなければならなかったのですが、うっかりしてしまいました。従ってこれから6ヶ月前の申込みに行きますので、映写会は11月中旬以降の日曜日を予定します。大阪アマ連の発表会の方とのかね合いで少し懸念もありますが、中央図書館の方は設定に幅がありますので重ならない様に気をつけます。ご免なさい(合原)

4月例会のレポート

桜前線も北上し、木の芽が芽吹きはじめ春風駘蕩の好季を迎えた26日(土)難波市民学習センターで例会が開催された。陽気に誘われて撮影旅行に出掛けられたのかいつもよりやや少ない22名の出席者でしたが愛知県からは江藤会員が3ヶ月ぶりに作品持参で元気な姿を見せられてなんと出品作品が合わせて15本になりいつもの盛況ぶりに司会者も大急ぎの進行となった。

今月の司会は有村氏、上映担当は、江村、井上の両氏、受付は紙本、森下の両氏、書記は岡本(筆者)で進行しました。

■出席者：有村、井上、上田、江藤、江村、

岡本、蟹江、紙本、合原、進藤、関、高瀬、鉄具、野田、華岡、前田、宮崎、森口、森下、森田、山本、吉村の22名でした。

■上映作品(作品はすべてBD)

(今月の講評は岡本世話役です。)

1. 梅香と

森田 光春 6分35秒

大阪城の噴水から画面ははじまります。そして梅の花のロング、ミディアム、アップを織り交ぜてうまく画面がながれていきます。やがてお堀の水鳥や春の草花が挿入されて変化をもたして早春の映像詩として構成されました。ところがタイトルと映像があってないと司会者からお話がありました。梅花ではなくて梅香であり「と」をつけるとなれば表現を工夫されてはと思います。最後に、撮影地が大阪城公園、長居植物公園と出ていましたが、大阪城公園にしぼられてはとの意見もありました。ともあれ早春の情景がよく出ていました。

2. 九份十分

有村 博 8分44秒

台湾北部の港町、基隆市の近郊にある九份と十分の二つ街を会員仲間と尋ねられた作品です。

九份(きゅうふん ジョウフェン)は、太平洋に面した傾斜地に群がる金の採掘によって栄えた山あいの街の集落で、映画『非情城市』の舞台となり、『千と千尋の神隠し』のモデルとなったところで日本人客に人気がある観光スポットだそうです。そんなレトロな雰囲気はナレーションと画面から伺えます。

十分(じゅうふん)は毎年2月頃のお天宵節に行われる天燈上げで有名な街だそうです。願い事を書いた天燈が熱気で膨らんで空に飛ばすシーンが克明に描かれました。

飛ばされた火のついた天燈が無事に着地するのか心配になりました。こんな隠れた観光スポットを楽しく拝見させていただき

ました。

3. タリン旧市街

華岡 汪 10分00秒

ヨーロッパ北東部の共和制国家、バルト三国の一つでもあるエストニアを尋ねられた作品です。首都タリンの旧市街を隈無く撮影されました。ナレーションで詳しく解説されて中世ヨーロッパの美しい町並みを拝見させていただきました。

4. ちきり城お城まつり

上田 吉巳 10分00秒

ちきり城とは岸和田城の別名だそうで初めて知りました。桜満開のころにお城まつりが開催され、その模様を撮影されまとめられました。紙芝居や餅つきあり、大道芸あり、映像クラブの撮影会風景ありで楽しいお城まつりを拝見しました。

5. 智頭急行各駅下車の記 (第2編)

紙本 勝 9分30秒

2月例会で発表された第1編につづく作品です。兵庫県、岡山県、鳥取県の3県にまたがる智頭線。作者のローカル線の旅の続編で今回は久崎から佐用です。

河野原円心から乗車された作者。車内で乗客との会話からカメラはスタート、ローカル線ならではの風景です。久崎で下車されてめざしたのは笹ヶ丘公園。長さが351メートル(現在は100メートルになっている)の日本一の滑り台にご自身が登るシーンが映ります。おそらくカメラのスイッチを切りに一旦戻られて再び登り、さらにカメラを持ってその滑り台を滑りながら撮影されるお元気さには脱帽する限りです。次に下車されたのは佐用駅。その町並みを撮影されて、第3編へと続きます。次回作を楽しみにしています。

6. よさこい2012

江村 一郎 7分40秒

高知の街に「よさこい」の音色が響きわたる中、作者の独特なカメラワークの映像

は何作品拝見させていただいても見飽きません。作品ごとに見所があり、楽しませていただきます。妖艶な踊りに作者のカメラのねらいがそうさせているのでしょうか。

小雨ふる夜の帳に包まれた街にカラフルな衣装に七色のライトに照らされ、カメラがとらえた情景はなんともいえませんね。

次回作も楽しみに期待しています。

7. 京の散歩道・東山花灯路

森口 吉正 9分20秒

京都東山花灯路は3月中旬に京都の東山の山麓から清水寺に至る約5キロの小路に約2500基の行灯を灯し夜の散策を楽しむイベントをカメラにおさめられました。

京都の伝統工芸品を使った路地行灯や街の灯りが融合して幻想的な風情を醸し出しています。ねぶたまつりの原型とされる粟田大燈呂や狐の嫁入り行列などが再現されていて、京の春の訪れを感じさせる作品となりました。

8. 春呼ぶ炎・お松明式

高瀬 辰雄 8分30秒

「京都に春の訪れを告げる『お松明式』は嵯峨釈迦堂・清涼寺境内で営まれる。釈迦が茶毘に付された様子を模したのが始まりとされている。」のテロップで映像がはじまります。このお松明式は、五山の送り火、鞍馬の火祭りとは並ぶ京都の三大火祭りとして3月に行われているようです。高さ7メートルの大松明に火がつけられると火の勢いで燃え盛る様と境内で行われている壬生狂言とのオーバーラップが迫力がありました。

9. 淡島神社 雛流し

前田 茂夫 9分54秒

和歌山県加太にある雛流しで有名な淡島神社で、毎年3月3日に行われる神事を取材されたものです。多くの観光客の参拝する中をカメラはまわります。拝殿には所狭ましと人形がぎっしりと並び神秘的な中に

幻想的な雰囲気醸し出しています。人形といえども一方を見つめるその瞳は魂を吹き込まれた存在に感じます。その人形を船に積み込んでいきます。浜辺に移動し、神事のあと人形を乗せた三隻の船は沖へと引っ張られていきます。供養を終え魂を抜かれた人形は浜辺に引き上げられ燃やされるシーンはなんともいえぬ愁傷の気にさせられました。

ナレーションで詳しく解説されてすばらしい作品になりました。

10. 万葉集を歩く

鉄具 嘉夫 15分00秒

7世紀後半から8世紀後半にかけて編まれた万葉集をひもときながら各地を歩かれて纏められた大作となりました。さまざまな歌人の歌も挿入されてわかりやすく解説されています。大変勉強になりました。

ご苦労されて編集された作品に拍手をおくります。

11. アルバニア紀行

山本 正夢 8分15秒

いつも海外編で楽しませていただいています。今回は東ヨーロッパのバルカン半島の南西部に位置するアルバニアを尋ねられた作品です。世界遺産にも登録された美しい街並みを拝見させていただきました。

テロップをもう少し大きめにさせていただければ読みやすかったです。

12. 水鳥の棲む池

新藤 信男 6分55秒

撮影地は、滋賀県米原市池下の三島池です。自然繁殖のマガモが戯れる三島池、その周辺には満開の桜が咲き誇り美しい野の花などいれられて、ちょっとした春の風物詩になりました。

13. 桜の通り抜け・2014

蟹江 利一 9分30秒

大阪造幣局の桜の通り抜けです。やはりこの桜の花はきれいですね。それをうま

くカメラがとらえていますが、現場のアナウンスがやけに気にかかります。音を消すか、アナウンスをいかした映像にすればよくなるのではないのでしょうか。不要な画面を少しカットすればよくなるのと思いました。

14. 美観地区・倉敷

関 剛 10分00秒

倉敷美観地区には、江戸、明治、昭和にかけての町並みがのこっている。和と洋、古さと新しさが融合した雰囲気の倉敷ならではの佇まいをカメラがうまくとらえています。晩秋の倉敷でしょうか、紅葉がしっとりとした町並みによく似合います。

おそらくこの時期をねらっていかれたのでしょうか。いつもの作品と趣を変えた作品になりました。印象に残った作品です。

15. 2か国語一家との休暇

江藤 洋司 9分53秒

1月例会で発表された作品は「オランダの友人家族訪問」でした。この時の講評をよく理解されて、今回の作品は上達されて少しよくなりました。

今回の作品は、2年ぶりにフランスの家族を訪問されました。ナレーションから理解しますと、この家族は7年前に他国からフランスに移住されて会話は日常はフランス語、家族間では英語だそうです。それでタイトルの意味が理解できました。ところが会話の映像があまりありませんし休暇らしき映像もないので内容が理解しにくいです。それとナレーションがもう少し解りにくいところがあります。映像とナレーションをあわせれば理解しやすいと思います。内容についてはストーリーがよく分かりませんのでその辺を整理されると完璧な作品になることを期待しています。頑張ってください。

以上で例会を終了し、それぞれ居酒屋組と喫茶組に別れて二次会を楽しみました。